

ショックアブソーバ 油付着について

使用過程において、ショックアブソーバに付着したピストンロッド潤滑用オイルを、油漏れと間違えて交換される場合がありますので、油漏れの判定方法についてお知らせ致します。点検整備にご活用下さい。

【対象車両】

エアサス用ショックアブソーバ装着車

【ショックアブソーバの潤滑】

ショックアブソーバは、ストローク時に微量の油膜をピストンロッドに形成し、シール部の潤滑を維持します。このときオイルの一部が外筒に付着する場合がありますが、正常です。

【判定方法】

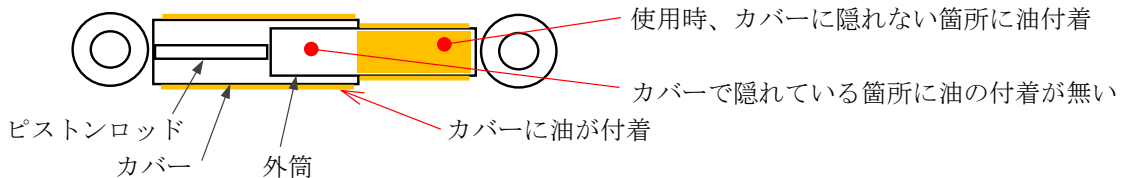
ショックアブソーバは新規登録または前回交換から3年（シビアコンディションでは2年）の定期交換部品です。定期交換期間以内の油漏れの判定を、以下の方法で実施ください。

アブソーバを車両に取付けしたままの状態の下記確認を実施する。

(1) 正常（継続使用可能）

①外部からの油付着

- ・外筒の、使用時カバーで隠れている箇所に油が無い
- ・ほぼカバーのみに油が付着している



②にじみ

- ・外筒が油で湿っているが、比較的乾燥している（油の範囲は広い場合あり）（写真1）
- ・油の跡が不明瞭（じんわり広がっている）



写真1

(2) 異常（油漏れ、交換要）

①油漏れ(使用不可)

- ・外筒に油が滴った跡があり、それがまだ乾燥していない（写真2）
- ・外筒に大量の油が滴った跡がある（写真3）
- ・外筒全体が油で覆われている（写真4）
- ・指で外筒を拭き取ると、指が油まみれになる



写真2



写真3



写真4

【その他】

(1) にじみ、外部からの油付着、または油漏れかの判断が難しい場合、ショックアブソーバを最大まで伸ばし、可能な限り広範囲を拭き取ってください。その後、3日ほど運行し再度油漏れの判定を行って下さい。

本紙に関するご質問等は日本トレクス株式会社サービス部まで。（TEL：050-3367-7494 FAX：0533-78-3137）

日本トレクス株式会社
サービス部

承認 審査 担当

松尾

坪井

茂木